

会 議 結 果 （ 報 告 ）

件 名	令和3年度 第1回中野市子ども読書活動推進連絡会議
日 時	令和3年6月1日（火）午後3時00分から午後4時10分まで
場 所	中野市役所5階 会議室52、53
出席者	<p>【委 員】小島佐和子委員長、清水幸美委員長代理、有賀真矢子委員、東谷洋子委員、山本裕里恵委員、竹節ゆかり委員、田中千尋委員、小高恵利子委員、浦野たけ美委員、小嶋昭一委員、小林薫委員、畔上春香委員、常田鮎美委員（13名）</p> <p>【オブザーバー】中野市子ども読書活動推進コーディネーター 堀内京子氏</p> <p>【事務局】戸田生涯学習課長兼図書館長、佐々木課長補佐兼生涯学習推進係長、町田主事補</p>
会議概要	<p>1 事務局から 「中野市子ども読書活動推進連絡会議」について 第3次中野市子ども読書活動推進計画、中野市子ども読書活動推進連絡会議設置要綱の内容を踏まえて、中野市子ども読書活動推進連絡会議の役割について説明した。</p> <p>2 協議事項 (1) 委員長及び委員長代理の選出について 委員長及び委員長代理の選出を、設置要綱第5条第1項及び第3項の規定により行い、次のとおり決定した。 <u>委員長：小島 佐和子 委員</u> <u>委員長代理：清水 幸美 委員</u></p> <p>(2) 令和2年度実施状況調査結果及び令和3年度活動目標について 第3次中野市子ども読書活動推進計画の令和2年度における子ども読書関係機関の実施状況調査結果の報告、及び事務局で設定した令和3年度の活動目標（案）の説明を行った。説明後、委員へ諮り承認された。 実施状況調査結果及び活動目標は後日、市内の子ども読書関係機関へ紙面にて周知する旨を説明した。</p> <p>【意見・質問】 質問① 小・中学校の令和2年実施状況にある(2)「家庭読書週間」をとおした家庭での読書の推進での読書カードを利用した取り組みとは何をしたのか。 回答① 読書カードに読んだ本の回数に応じてぬりえをしたり、家庭での取り組み状況もついて、保護者からコメントをもらい、児童にフィードバックしてもらう取り組みを実施した。</p>

補 足 実際に取り組みをしている学校について、東谷委員に補足の説明をお願いしたい。

回 答 時間などを決め、家庭でしたことを読書カードに記してもらって、学校で回収した。

質問② それは強制ではなくやりたい子が実施したということか。

回答② 5分や10分でも読書をしていれば記入できる。それを家庭で支援していただいて、家庭でも見ていただいている。

補 足 各学校で様々な取り組みがあり、担任の先生、司書の先生、図書委員会等が相談しながら決めている。

質問③ 親から子どもへ、支援ができていない家庭は少ないと思うが、本会議ではどのように支援していくことを考えているか。

回答③ 事務局で昨年度、改訂したブックリストをできるだけ目につくところ（図書館、保健センターなど）において広く周知したい。その他にも小学校、保育園、児童センターにも協力依頼したいと思う。

(3) 中野市子ども読書活動推進事業について

①令和3年度 「家庭読書週間」について

毎年度、実施している「家庭読書週間」について、今年度も実施予定であることを説明した。説明後、委員へ諮り、承認された。

【意見・質問】

質問① なぜ「家庭読書週間」が毎月23日を含むのか説明願いたい。

回答① 子ども読書活動の推進に関する法律第10条で、毎年4月23日が子ども読書の日と定められている。そのことにちなんで、毎月23日を含む一週間を「家庭読書週間」として定めている。

質問② 中野市子ども読書推進連絡会議が行う事業としてある啓発チラシの配布とあるが、どんなもので配布しているか。

回答② 2か月に1回、家庭読書週間チラシ（2か月分の情報掲載）を事務局で作成し子ども読書関係機関に配布している。

質問③ 「読んでみて！わたしの大好きな本」の内容について、説明願えるか。

回答③ 読書の取り組みでは、大人から子どもに対して本を薦めることが多い。そこで、子どもから子どもへ自分のおすすめの本を紹介して、本を手にとってもらう機会を増やす取り組みとして昨年度から実施している。

昨年度は応募する人が固定していたので、今年度はより多くの人に周知し応募してもらいたいと考えている。

②令和3年度 中野市子ども読書活動「ファミリー賞」について

毎年度、実施しているファミリー賞について、今年度は「第8回中野市子ども読書活動『ファミリー賞』」として実施予定であることを説明した。説明後、委員に諮り、承認された。

【意見・質問】

意見① 商品が賞状だけなので、もっと事業を広めたいなら最優秀賞をとった家族には本を何冊かプレゼントするなどしてもよいと思う。

回答① 今年度は本を買うお金はないが、予算の執行状況を見てできるだけであれば捻出したいと思う。

意見② 今の保育園、小・中学生の親は 20、30 代の若い人が多いと思う。賞状では募集が集まらないと思うので、他の方法考えた方がよいと思う。

回答② 今年度は予算の関係もあるため難しいが、ご意見として受けたいと思う。

③令和3年度 ブックリストの改訂作業について

昨年度から改訂作業を実施しているブックリストについて、令和3年度小学生向けブックリストの改訂作業、及び中学生向けブックリストの選書作業を実施する予定であることを説明した。説明後、委員へ諮り承認いただいた。

【意見・質問】

質問① 改訂作業には、誰が集まり実施するのか。

回答① 子ども読書活動推進コーディネーター、図書館司書に協力いただくかと考えている。

質問② 改訂作業に小・中学校の先生たちは入らないのか。

回答② 極力お声がけをさせていただいて協力していただけるようであれば参加していただこうと思う。

意見① 昨年度のブックリスト作った際、掲載している本をすべて読み選書した。ある地域では、5年ほど経ち作成したブックリストの成果が表れているところがある。保育園などでブックリストに掲載されている本で読み聞かせをしていたところ、小学校に入って著しく児童が変わっていて学校の先生から話があった。作成したブックリストは読み聞かせに使用してほしい。そして、委員の皆さんもぜひ読んでいただけたらと思う。

3 その他

質問① 図書館に関してだが、ネットを通しての予約はできるが、2週間の予約状況はいちいち窓口で確認しないといけない。京都はホームページ上で延長できるシステムがある。本を読んでもほしいのならそういったところも変えていかななくてはいけないと思うが。

回答① システム上ではできる。また、隣の長野市でもやっている。中野市は、2週間に一度、本の紛失確認をしている。また、予約が入っている場合は、本を返さなければいけない。

質問② 京都だとシステムで確認できる。

	<p>回答② 中野市は現状、延長や紛失状況が不明確になる可能性もあるので、直接窓口に来ていただいて実施している。決まりについては、それぞれの館の方針によって変わってくる。</p>
--	---